

## I 氏邸訪問記(2025.1.)

### 1. はじめに

前回の訪問は [I 氏邸訪問記\(2019.9.26\)](#) で報告していますが、その後、コロナの蔓延で往来をやめていましたが、今回、ST 氏とともに久しぶりの訪問となりました。

### 2. I 氏邸のシステム

前回は、マッキントッシュ C-47 を購入されたとのことでした。その前の訪問では [I 氏邸訪問記\(2018.5.31\)](#) で報告していますので、その後の進捗を確認させていただきます。CD プレイヤーは新しく買い替えたとのことですが、修理中で借用機がセットされていました。



今回は、大のアナログファンである I 氏のためにレコードアンチスタティックを持参して Lux のプレイヤーに取り付けてみます。また、Magic Mat II も持参しました。CD アンチスタティックを持参しましたが、修理中の借用機ということで次回の検討事項としました。

### 3. I 氏邸のシステムの試聴経過

まずは、現状でアナログを聴かせていただき、レコードアンチスタティックを取り付けて再度聴き直してみます。

最初にショルティ指揮ウーンフィルのタンホイザー序曲を聴かせていただきましたが、現状では、トレースに不安定なところがありましたので針圧を針圧系でチェッ

クしたところ軽めになっていましたので、Ortofon SPU Royal A の適正針圧に調整したところトレースが正常に戻りました。

次に、本日の目玉であるレコードアンチスタティックを Lux のプレイヤーに取り付けてみましたところ、これまでに経験済の改善点と同様、解像度の向上などを確認できました。

さらに持参した Magic Mat II も有無の違いを確認しましたが、顕著とは言えないまでも高域の滑らかさの向上を認めました。効果としては、レコードアンチスタティックの方が大きいと言えます。

この後、ワルター指揮コロンビア響のベートーヴェンの田園で Magic Mat II を外しましたが、レコードアンチスタティックの効果が十分維持されていました。

さらに、エドアルト・メルクス の the art of playing on the violin を聴かせていただきましたが、タルティーニなどの曲のメルクス のヴァイオリンの音色を、JBL とは思えないほどしっとりと聴かせてくれました。

#### 4. まとめ

Lux のプレイヤーのアームにレコードアンチスタティックをとりつけた効果を認めました。

以上